

# 関東甲信越歯科医療管理学会 第29回学術大会のご案内

## 健康寿命の延伸と 生活の質の向上を考える ～患者さんのケアをどうするか～

会場開催及びオンデマンド開催併用方式

日時：**会場開催** 2023(令和5)年11月12日(日) 9:00～16:00  
**オンデマンド配信** 2023(令和5)年11月17日(金) 9:00～  
12月22日(金) 18:00まで

会場：神奈川歯科大学 横浜クリニック 7階会議室 (JR横浜駅 北口・徒歩5分)

大会長：林 昌二(神奈川歯科大学短期大学部 特任教授)

### ① 特別講演 咀嚼機能の向上と健康寿命の延伸と生活の質の向上を考える

パート①「平均寿命・健康寿命・そしてイキイキ寿命～医療の関わり合い」

基調講演 講師：弘田明成 先生 東京・駒沢・アット・ホームクリニック 院長/医学博士

パート②「高齢化社会でのインプラント治療の展望」

大会長講演 講師：林 昌二 先生 第29回学術大会 大会長/神奈川歯科大学短期大学部 特任教授/歯学博士

### ② 教育講演

「これから求められる歯科衛生士とその教育 -卒業後研修、リカレント教育の必要性-」

講師：石川裕子 先生 千葉県立保健医療大学健康科学部歯科衛生学科 教授/歯学博士

### ③ シンポジウム 「高齢者治療の残存歯とインプラント治療の共存を考える」

「超高齢社会におけるインプラント治療：高齢者へのインプラント治療をどう考えるか？」

講師：佐藤大輔 先生

昭和大学歯科病院インプラントセンター 副センター長/昭和大学歯学部インプラント歯科学講座 講師

「天然歯とインプラントの共存を求めて ～インプラント臨床25年から導かれるインプラントとは～」

講師：柴垣博一 先生

日本歯科医療管理学会 専務理事・認定医/日本口腔インプラント学会 専門医・指導医  
医療法人 賢信会 柴垣歯科医院 理事長

「高齢者におけるインプラントのメンテナンス ～歯科衛生士の立場から～」

講師：河野章江 先生

日本歯科衛生士会 副会長/講道館ビル歯科・口腔外科

「訪問歯科医療から見てきた天然歯とインプラントのケアについて」

講師：藤川隆義 先生

医療法人社団 藤川歯科医院 理事長  
新札幌・ひまわり歯科 院長/日本障害者歯科学会 指導医

### ④ 一般口演・ポスター発表



# 関東甲信越歯科医療管理学会



本会は下記の地域より構成されています

茨城県・栃木県・群馬県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県

## 関東甲信越歯科医療管理学会第29回学術大会 開催要旨

- ①本会はこの数年「100歳時代をどう生きるか」をテーマに議論を重ねてまいりました。その結果、健康寿命を延伸するには8020運動の理念に基づいた自立歩行の重要性が示唆されています。
- ②昨年は自立歩行を高齢者の誰にでも確立できる環境をサポートできるコ・デンタルスタッフの歯科衛生士職域に焦点を置いて開催いたしました。
- ③前大会では、介護現場のメンテナンスにおいて、セルフケアはもとより、プロフェッショナルケアでも十分なケアが出来ていないことが認められました。特に、高齢者のインプラント治療後のケアについては解決しなければならない問題点も多く検討が望まれます。
- ④本年5月に長崎で開催されたG7(長崎保健大臣会合)の際、「G7 UHC・グローバルヘルスプラン(2030年までのプラン)」が策定され、宣言がされました。  
UHC: 誰もがお金の心配をすることなく適切な予防・治療・リハビリ等を受診できる状態。
- ⑤本大会では先に述べた「高齢者のインプラント治療後のケア問題」に焦点を当てて、100歳まで自然体で自立歩行できることを確保し、より成熟したQOLを確立したく企画しました。
- ⑥また、昨年に引き続き歯科衛生士の職域についてのより成熟させるべき対応を検討していきたいと思っております。

### 【学術大会参加費】

- ▶現地参加：歯科医師：¥5,000  
歯科医師以外：¥3,000  
学生・研修医：無料
- ▶Web参加：¥5,000

参加登録は… Webサイトより  
<https://kanto-koshinetsu.com/>



## 1. スローガン

「みんなが参加したくなる

関東甲信越歯科医療管理学会」

## 2. 活動方針

- (1)風通しがよく、わかりやすい機構、組織
- (2)楽しい医院づくりに役立つ活動
- (3)地域での多職種との連携を強化した活動
- (4)歯科医師会の医療管理部門との連携強化